



はなまき

岩手日日新聞社  
一関市南新町 60

花巻支社  
花巻市花城町 3 の 23  
電話 0198 (24) 9055  
FAX 0198 (24) 8821

©岩手日日新聞社 2013  
http://www.iwanichi.co.jp/



仕出し 割烹  
赤沼商店  
「予算・ご希望に応じご予約承ります。」  
花巻市四日町二丁目2-30  
お問い合わせ・ご予約  
☎0198-24-5111

きょうの紙面

岩大農学部創立110周年式典  
金沢小で救命技術講習  
奥州ジュニアオケスクール開講  
西和賀で芸術企画スタート  
賢治セミナー始まる

県内  
一関・両磐  
胆江  
北上  
花巻

# 衣類 25トン回収

## 焼却ごみ減量へ手応え

花巻市は、焼却ごみの減量化を目指して2013年度から新たに始めた衣類の分別回収の初回実績をまとめた。市内全域から当初の見込みを大幅に上回る25トンの回収量となり、市は「可燃ごみの減量に大きな効果が期待できる」として市民の継続的な協力を期待している。

5月29日に初めて実施した結果、回収量は全体で24・46トンの上った。地域別は花巻18・23トン、大迫1・45トン、石鳥谷2・76トン、東和2・02トン。ジャケットやセーター、トレーナーなど婦人服、子供服を中心に衣替えの時期とも重なり冬物も目立つ。

回収された衣類は、同市矢沢の市清掃センターに一度搬入され、盛岡市の古着リサイクル業者に引き渡す。当初は4トン

回収された衣類は、同市矢沢の市清掃センターに一度搬入され、盛岡市の古着リサイクル業者に引き渡す。当初は4トン

回収された衣類は、同市矢沢の市清掃センターに一度搬入され、盛岡市の古着リサイクル業者に引き渡す。当初は4トン

回収された衣類は、同市矢沢の市清掃センターに一度搬入され、盛岡市の古着リサイクル業者に引き渡す。当初は4トン



回収された衣類をトラックに積み込む業者＝31日、花巻市矢沢の市清掃センター

### 花巻市・新分別初回実績

衣類の分別回収は、従来可燃ごみとして収集していた衣類を第5水曜日（5月29日）にのみ、ごみ集積所に出してもらおう試み。これまで綿製品だけは集団資源回収で対応してきたが、今回は材質を問わず衣類全般に拡大した。

5月29日に初めて実施した結果、回収量は全体で24・46トンの上った。地域別は花巻18・23トン、大迫1・45トン、石鳥谷2・76トン、東和2・02トン。ジャケットやセーター、トレーナーなど婦人服、子供服を中心に衣替えの時期とも重なり冬物も目立つ。

回収された衣類は、同市矢沢の市清掃センターに一度搬入され、盛岡市の古着リサイクル業者に引き渡す。当初は4トン

回収された衣類は、同市矢沢の市清掃センターに一度搬入され、盛岡市の古着リサイクル業者に引き渡す。当初は4トン

回収された衣類は、同市矢沢の市清掃センターに一度搬入され、盛岡市の古着リサイクル業者に引き渡す。当初は4トン

回収された衣類は、同市矢沢の市清掃センターに一度搬入され、盛岡市の古着リサイクル業者に引き渡す。当初は4トン

「少ないのは市民の意識が高いからでは。回収品の全てが資源化され、ごみは一つも出ないことを知ってほしい」と語る。

可燃ごみの減量は、15年度に稼働する岩手中部広域行政組合（花巻市、北上市、遠野市、西和賀町で構成）の新ごみ焼却施設の運営経費の負担割合（現状で花巻市が全体の約半分）を減らす上でも同市の最重要課題。

減量化に向けて2月に地区ごとに住民説明会を開き、ごみカレンダーなどで周知に努めてきた花巻市の大竹昌和市長は「かなりの量で可燃ごみを減らす効果につながる。ぜひ継続して